新撰大匠雛形大全　壹

新撰大匠雛形巻之一目録

（廿）出組隅之組上の法

（廿一）二タ手先隅組上の法

（廿二）出組平組出シ之法

（廿三）三ツ斗隅地組上の法

（廿四）出組隅地組上の仕法

（廿五）出組平地組上の仕法

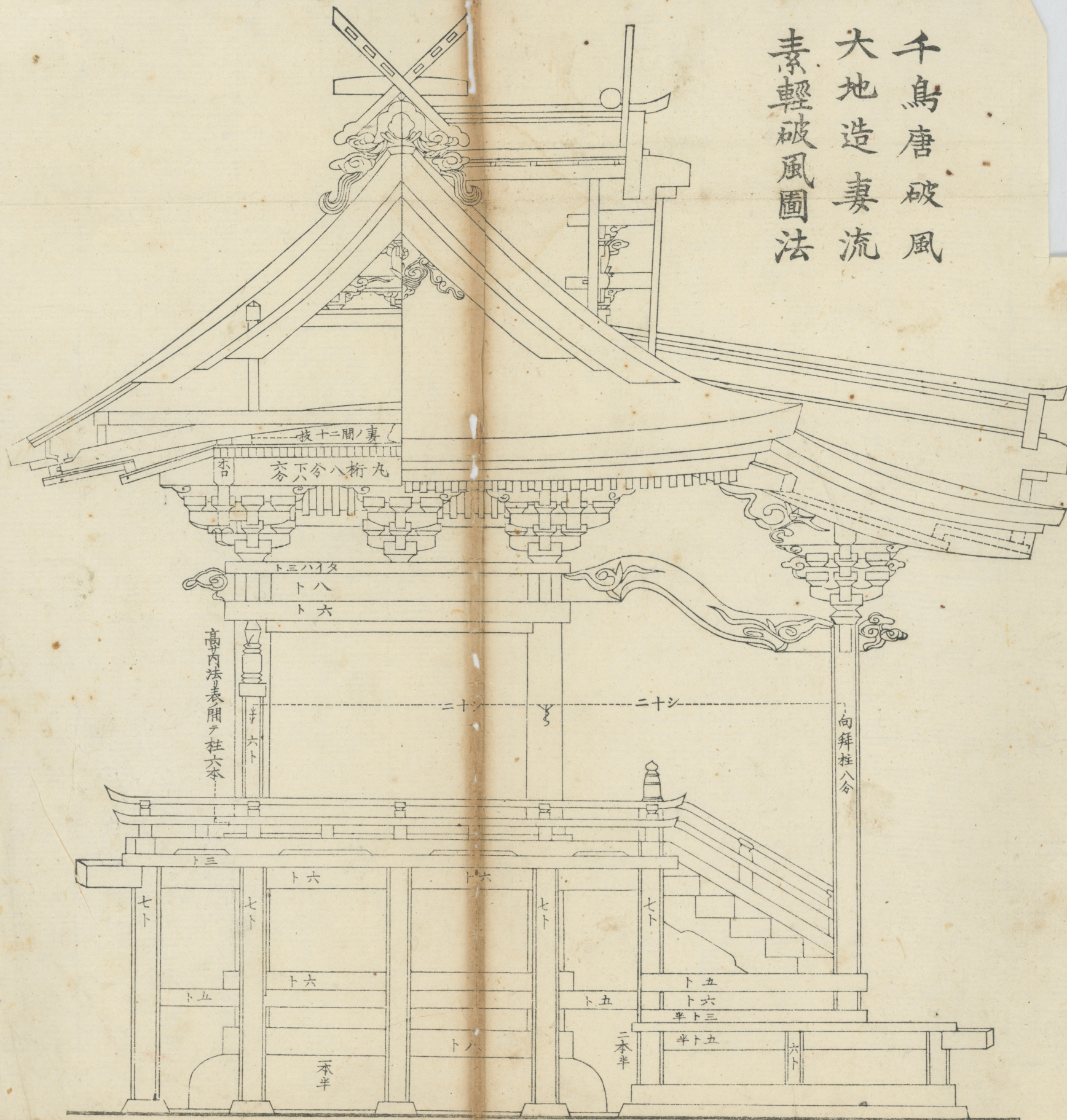
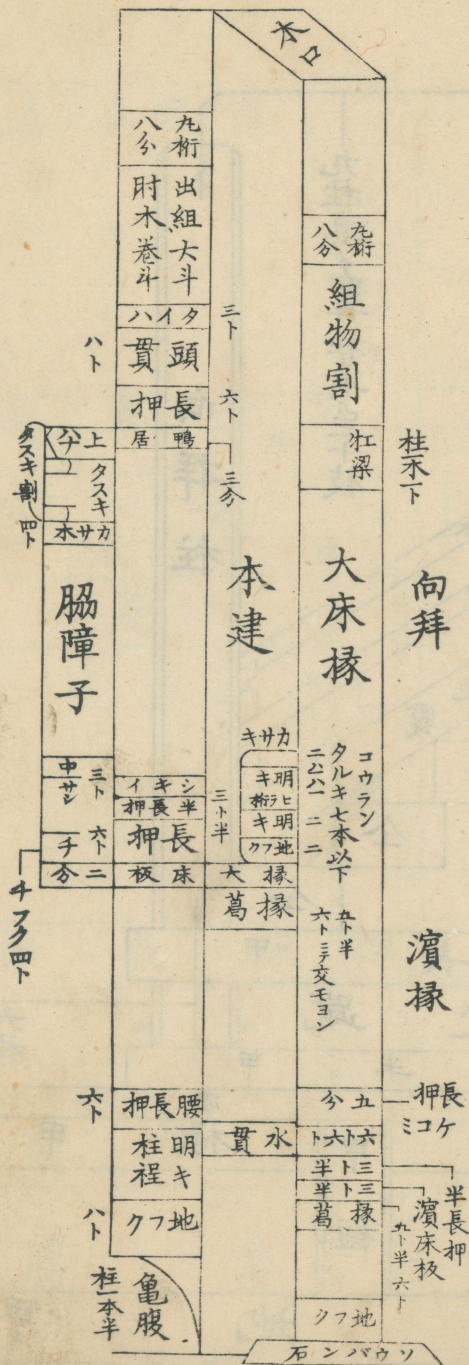
（廿六）二手先隅地組上の仕法

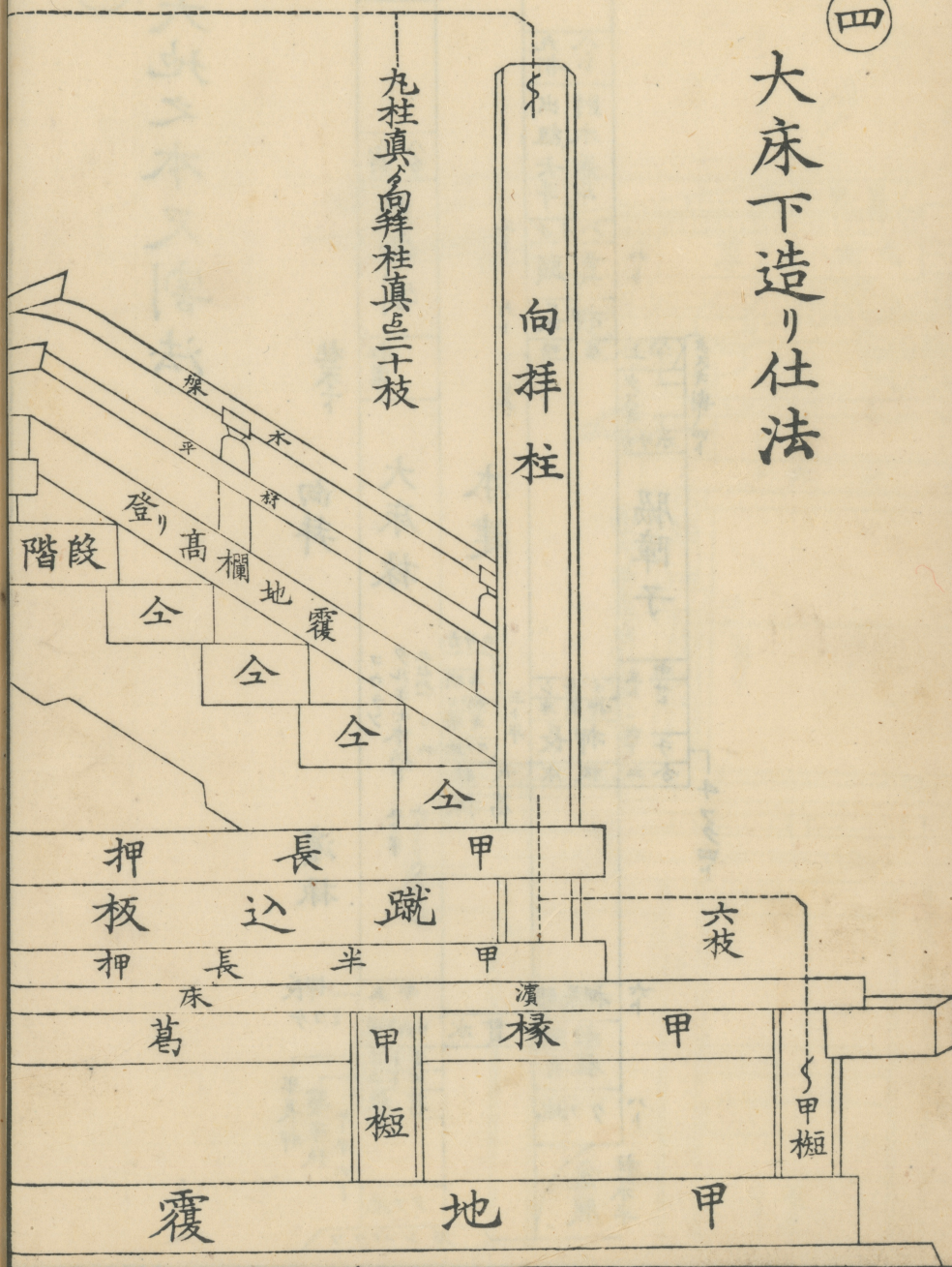
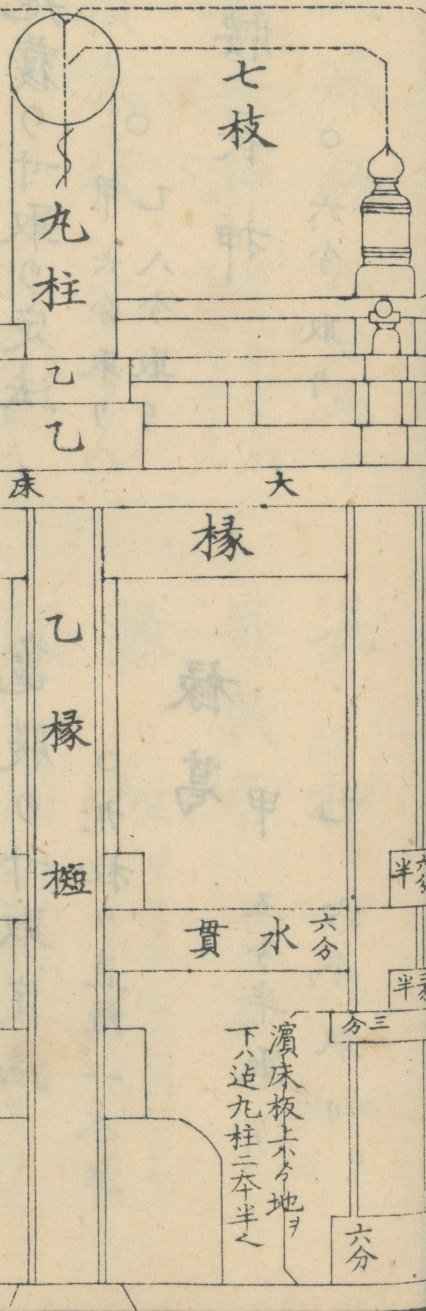
（廿七）二手先平地の仕法

新撰大匠雛形　巻之一
一　明神鳥居割法
八分
二寸五分句配
三寸句配
蓋木鼻の切様ハ貫下バ角より三寸句配引上げ切る可し
島木の鼻の切様ハ貫木口土水ニ引上け二寸五分句配ニ切るべし
根包ハ高さハ柱一本四分厚さ二分でとなす上の句配ハ二寸五分ニ切るべし
○印を十ニ割り其一ツ分を以て一寸と云又其一寸を十ニ割一ツ分を一分と云柱根元大さ一寸一分ニ取るべし上の大さハ四歩ん究ゝて作る者と為す
○印ハ地の間の真より真迄
蓋木の作り様ハせいハ柱の四分ニ取り棟ハ三寸句配となし下の大さハ柱の大さと同じ上の大さハ左圖の▲印の墨の如く句配ニ上へ引上け寸を定むるべし
島木の作り様ハせいハ柱の六分ニ取り上の大さハ八分八分下の大さハ八分七分五歩んとし下の大ハ八分七分となすべし
此笠木鼻二分増とす
此志ま木せいの増し二分とす
此志ま木下ハ二分そり為すべし
此臺輪せい三分巾柱一本四分
此ゆき柱一本
此貫上バマテの高さを取るニハ○印の地間の寸を以て其高さと
貫出ハ長サヲ五ニ割其一ツ分即チ△印一箇ヲ以テ貫ノ出ト定ム
貫高サ八分厚サ柱三ツ割其一ツ分トナス
此石ノ大サハ柱一本四分トス
蓋木
四分
島木
六分
臺輪
三分
柱
ヌキ
八分
ヒサ
一
二
三
貫下ハ三ツ割一ツ之
■印柱十二割の一ツ分あり
⊖印ハ柱の大さの附号とは
●印ハ柱の七歩ん五毛とん
柱中真
八ツ中轉真
八ツ中轉の取様ハ圖の如く八角ニ割其角を以て轉びの墨と定むべし
三

㈡ 大地造り地繪圖法

正面千鳥破風
大地造圖之法
側軒の出ハ破風共ニ八枚
ヌイハ三分
頭貫八分 柱下三ツ割一分
長押六分
柱六寸表ノ間ニ三寸取九柱
脇障子柱六ト
虹梁セイ柱一本一分下ハ七分
向拝柱
二ト半
長押六分
三ト
椽葛六分
枚二十二
六分
ツカ七分
腰長押六分
長押五ト
ケゴミ六ト
明柱袢
半ゲタ三ト半
二ト半
地腹八分
五ト半
六分
亀腹一本半
地覆六ト

千鳥唐破風
大地造妻流
素輕破風圖法
裏ノ間二十枝
丸桁八分下ハ六分
タイハ三ト
八ト
六ト
二十シ
二十シ
高サ内法ヨリ表間テ柱六本
向拜柱八分
三ト
六ト
七ト
五ト
六ト
五ト
三ト半
五ト半
ハト
二本半
一本半
六ト

四 大床下造り仕法

九柱真ゟ向拝柱真迄三十枚
向拝柱
垂木
平桁
登り高欄地覆
階段
仝
仝
仝
仝
甲長押
蹴込板
甲半長押
六枚
濱床
甲椽葛
甲極
甲極
甲地覆
妻ノ間真ゟ真迄二拾枚
七枚
九柱
寄敷居 三分
乙半長押
乙長押 六分
大床板 三分
椽葛 六分
乙椽極
腰長押 六分
水貫 六分
アキ 十分
乙地覆 八分
亀腹 十五分
濱床板上ゟ地ヲ下ハ迄九柱二本半之
椽板上ゟ亀腹下迄九柱七本半之

大地造り壱間社の作り方ハ先ツ丸柱の大さを定む丸柱の寸法取様ハ表の間を十ニ割り其一ツ分を以て丸柱の直経の寸法と定む又此圖式ニ何分取と云ふハ此丸柱を十ニ割り一分又ハ二分より十ニ至るの割合を示すなり例令ハバ五分取と云ふハ其丸柱の直経を十ニ割其五ツ分を以て五分取と云ふ以下之ニ傚へ

向拝柱ハ丸柱を標準として八分取りニなし角柱ニ作る又面の取り様ハ此角柱の一方の寸を見て其れを七ニ割り一ツ分を両方の面と為すべし

又向拝の丸桁高さハ長押下バ丸桁下バと見通しニ為すべし

地覆の寸取の定法

○甲 六分取り
乙 八分取り

亀腹の寸取定法

○丸柱の直経一本半

腰長押

○六分取り

椽葛

甲 五分半取り
乙 六分取り

大床板 三分取り

半長押 甲三分五りん 乙三分五りん

濵床板 二分五りん

水貫 高六分取り 厚二分二厘取り

蹴込 高六分取り

表間 二十二枚

大床の出 七枚 仝高柱七本半

長押 甲五分取り 乙六分取り

寄敷居 三分取り

椽框 甲六分取り面八ッ割一ッ分あり 乙七分取り面八ッ割一ッ分あり

段階 高六分取り 幅其間之割合ニ為すべし此上ニ二分半の蹴板を付くべし

わき柱一本となす

表の間 二十枚

向拝 二十枚

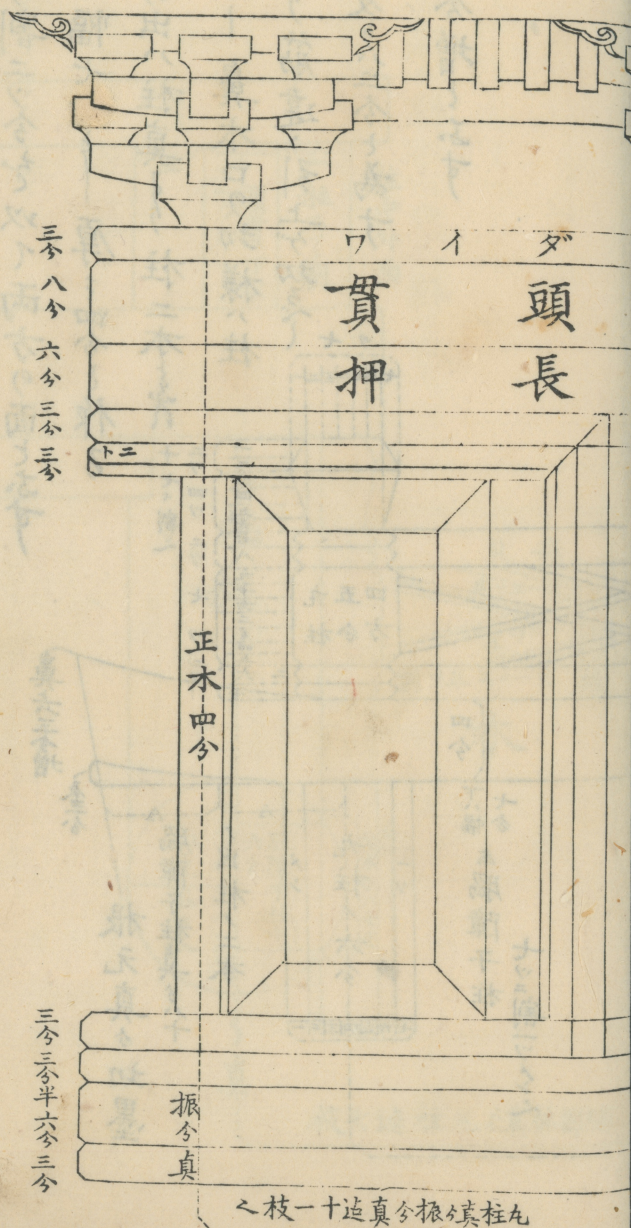
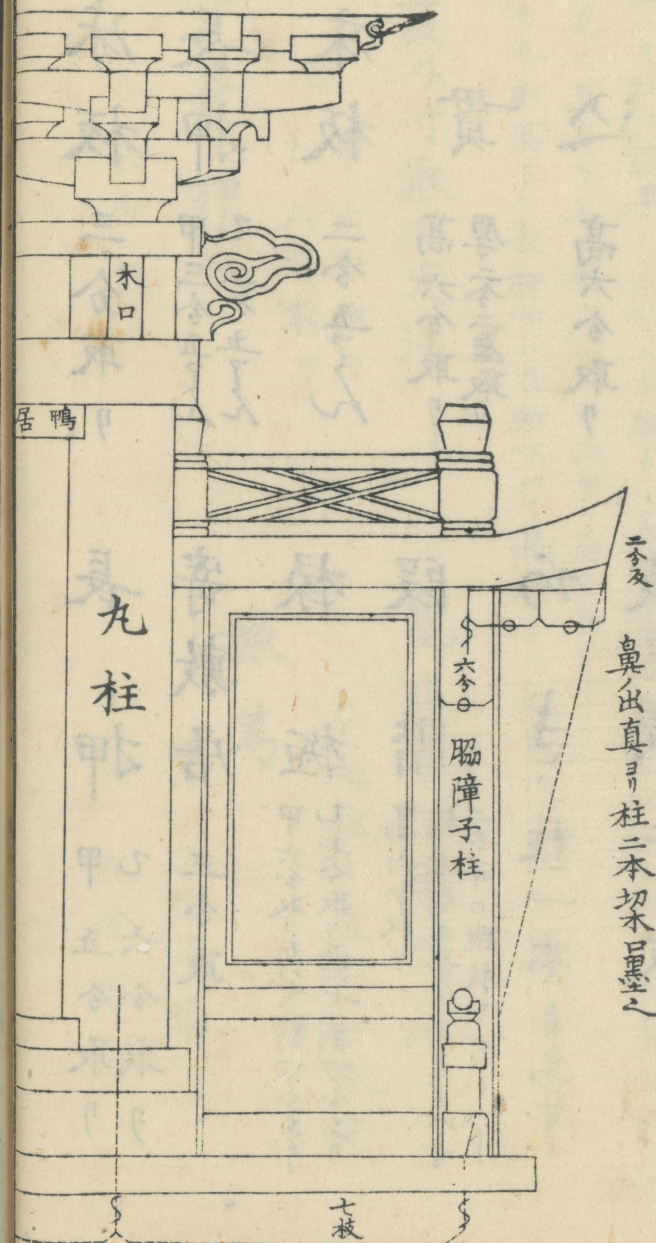
濵床の出 六枚 仝高柱二本半

五

幣軸脇障子之仕法

臯出真ヨリ柱二本架墨之

長押下バより半長押上バ迄内法ハ柱六本とし　臺輪なきときハ六本半とさだむべし

鴨居　三分取り　長押　三分取り　頭貫　高さ八分取り　厚柱三ツ割一ツ分取り

臺輪　三分取り　組物ハ別圖ニ現ハす就て見るべし

丸桁　高八分より　下バ六分より　虹梁　高柱一本一分　下バ七分　海老虹梁　高八分　下バ七分

⑥ 脇障子の割方仕法

脇障子柱ハ九柱の六分取なして
面ハ七ツ割ニツ分を以て両方の面となす
笠木ハ幅七分とし厚さ四分と作る
其鼻の出ハ柱真より柱二本となし
圖の如し鼻木口の切様ハ柱
根元より筋違ニ引上ゲ切るべし
鼻下バ反りハ二分と為す
上バ三分増となす

㊆ 高欄之割方仕法（こうらんのわりかたしはう）

凡ソ高欄之割方ハ
棰より寸法を起す
柱ハ九柱の六分ニ取り
地覆ハ棰下バの幅二倍を以て
別圖の如く角ニ
造るべし
平桁ハ棰の下バ寸を以て勢
と為し幅ハ棰下バの二倍とす

架木ハ圓く作り経ハ棰下バ
の寸を以て為すべし
柱の真ゟ斗極の真迄七枚とす
大床板ハ九柱の三分取とれ
栭極ハ地覆の八分角とふれ
斗極ハ地覆の八分角とふれ
水操ハ棰下バ十ニ割り
其一分五りんを以て
すべし
地覆と平桁との
あきハ棰せい二本とし
平桁と架木との
あきハ棰せい二本半
と為すべし

セイ十ヨ割

様ギカノイヲ

扉の割方ハ丸柱より六分の小脇板より次ニ方立より二分半ニ為す而して又六分の幣軸より其次ニ五分の方竪より厚さ二分半とし扉框の大さの取様ハ圖の如く廿四ニ割り合せ其一分を以て框の大さと為す

但し軸まわりの框ハ面程増すべし

又見込ハ框の八分取り為す

八 幣軸木割之法

唐戸框

戸内法

唐戸框 根分真

戸内法

九 虹梁之割法

下バ十ヨ割

上バ角

虹梁本口 セイ柱本分 下バ七分

キカツ一

三ツ

三ツ半

柱内面

袖切長サ肘木木口迠

此処メ印せい三ツ半とす

(十)虹梁下端ゆゑんたう之仕法

(十一)頭貫上端圖取様之法

(十二)唐花結むだ

(十三)肘木蟇股割法

十四
唐戸割之法
十二ニ割下より六ツ中さん
六ツ
四ツ
アキ
サンノ
四分
マシ
中サン
上同
フリ分
フリ分
フリ分
上同
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二
十二ふ框の大さ一つ
尾込框の八分とり
唐戸割ハ方竪内法を二十四分し一分框前巾見込框を八分す
ぢくばり框ハめん程ましを致しさん割の高さ十分し下より
六ツ上り中さん真上四ツさん大さ框程上中下の明きさんの四分まし
•印あり 右之図の如くして可なり

⑮ 三ツ斗皿斗肘木組上法

●印ハ橰下バ橰一枚の附号とす
⊙印ハ橰せい木間の附号とす
△印ハ上圖の如ク橰下ハ二ツ木間一ツトを合せたる者ニて大斗せい仝斗尻巻斗大さ皿斗斗尻雲肘木ノ鼻ノ長さ等ニ用ゆべし
▲印ハ大斗大さ三ツ割一ツ分にして肘木下バ皿斗せい雲肘木四角枠肘木鼻の木口四方ニ用ゆべし

大斗皿斗大さ柱程とす

⑯ 三ツ斗下裏之割法

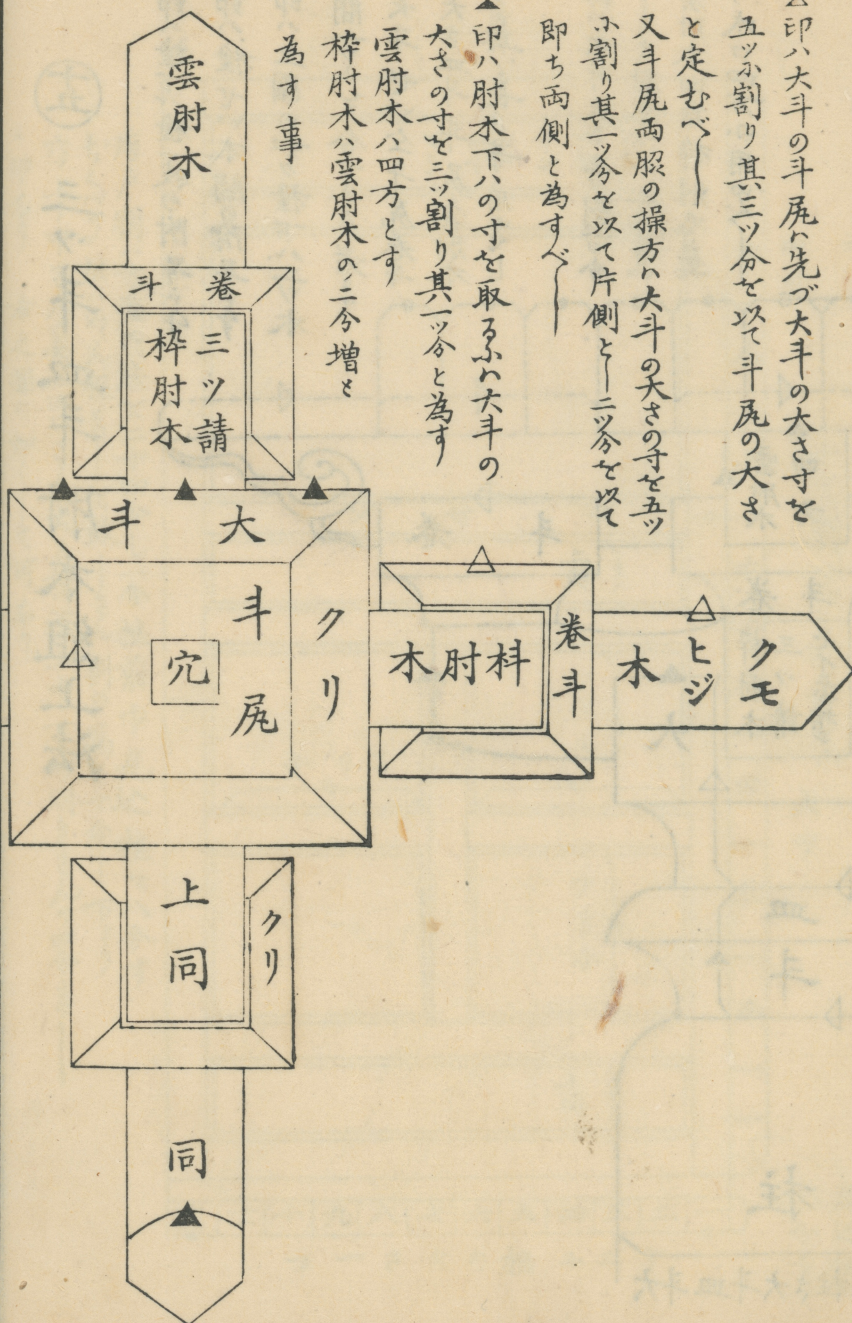
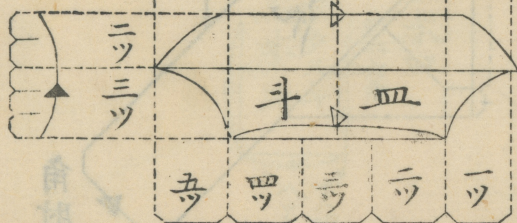
△印ハ大斗の斗尻ハ先づ大斗の大さ寸を五ツに割り其三ツ分を以て斗尻の大さと定むべし

又斗尻両脇の操方ハ大斗の大さの寸を五ツに割り其一ツ分を以て片側とし二ツ分を以て即ち両側と為すべし

▲印ハ肘木下ハの寸を取るにハ大斗の大さの寸を三ツ割り其一ツ分と為す

雲肘木ハ四方とす

枠肘木ハ雲肘木の二分増と為す事

七 雲肘木と巻斗と大斗皿斗割法

一巻斗の寸法ハ椽下バ二本分と仝せい一ツ分と合せて三ツを以て大さと定む又大斗大さの寸を五ツに割り其三ツを以て大さと為す斗尻割合方ハ大斗の割方に準ず可し

大斗皿斗大さ柱の大さと同じ

ツ印敷面之

○印を五ツに割肘木二ツ敷めん一ツくり二ツと為すべし

△印五ツに割上同断

▲印五ツに割上二ツとし下三ツくりのたとす

五ツに割三ツ斗尻二ツくりのた

新撰大匠雛形 巻之一
⑥
角斗角肘木割法
角肘木のせいハ下ハの二分ましと為す
下ハ
セイ
下ハ
巻斗
ツ印
肘木
木口
セノマシ
ツ印
一ツ印
上同
角斗
ツ印
角肘木
五ツに割
せい即ち木間為す
角斗の裏面
木口
下ハ即ち一枚と為す
一印ハ敷面と為すべし

新撰大工雛形
巻之一
十四
九
二十二枝棰割并木口大さ割法
十一ニ割
一
二
三
四
五
六
一
二
三
四
五
六ツセイ
五ツ下八
此寸法二寸二分とす
一寸二分
一寸
二十二枝のト二寸二分ト八
八下四分
セイ六分
其間二尺四寸之ト二寸四分
但シ此割合ニ準し其ト之棰数ニ合せるべし
例（二十四枝ト二寸四分
二十六枝ト二寸六分）
棰木口
上八
タルキ
木コ
セい六分
下八零

新撰大匠雛形 巻之一
十五
廿 出組隅之組上之法
廿一 二手先隅組上之法
中
雲肘木
拳鼻肘木
枝輪
通り肘木
方斗
三ツ請枠肘木
四ツ請枠肘木
巻斗
大斗
柱真
角斗
丸桁
丸桁セイ
柱八分
六分
同
尾垂木之平
巻斗外面

廿二
出組平組出シ之法
丸桁
肘木
雲
斗
巻
鼻拳
枠肘木
三ツ請
斗
方
桔木之木口
柱ノ真
通肘木
斗
方
内桁
通肘木
斗
方
枠肘木
三ツ請
斗
大

(廿三) 三ツ斗の隅地組上の法

隅肘木隅巻斗圖ニ現ハすと雖モ是れを省くとも可なり

下より一号

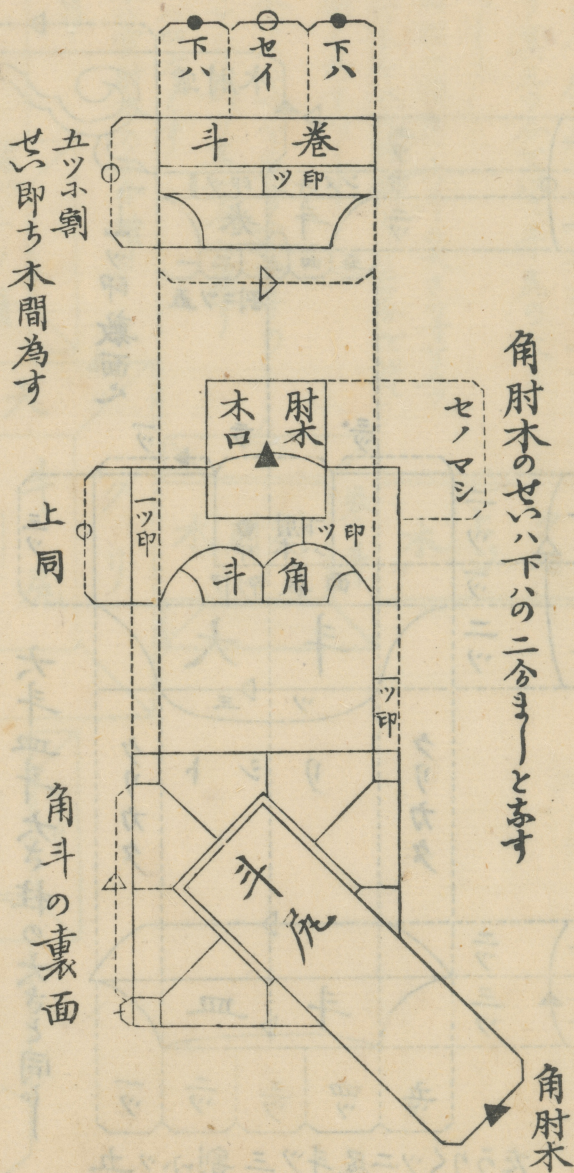
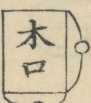
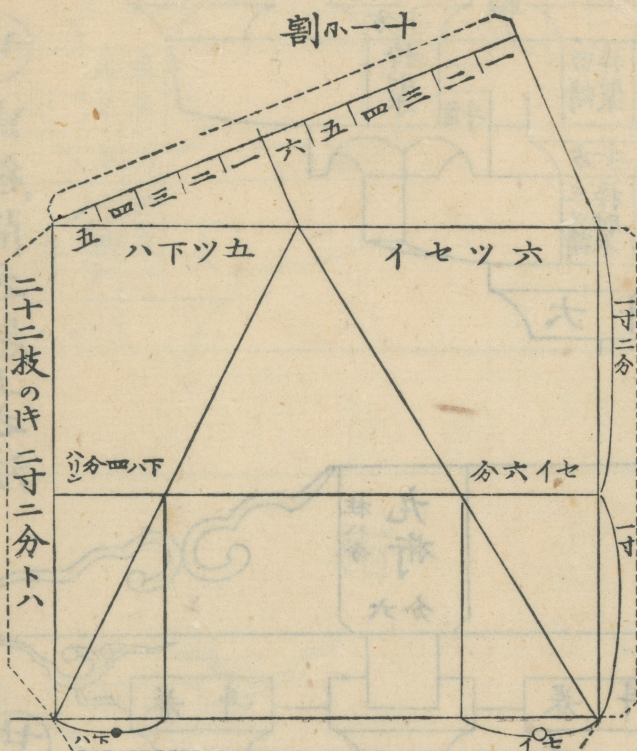
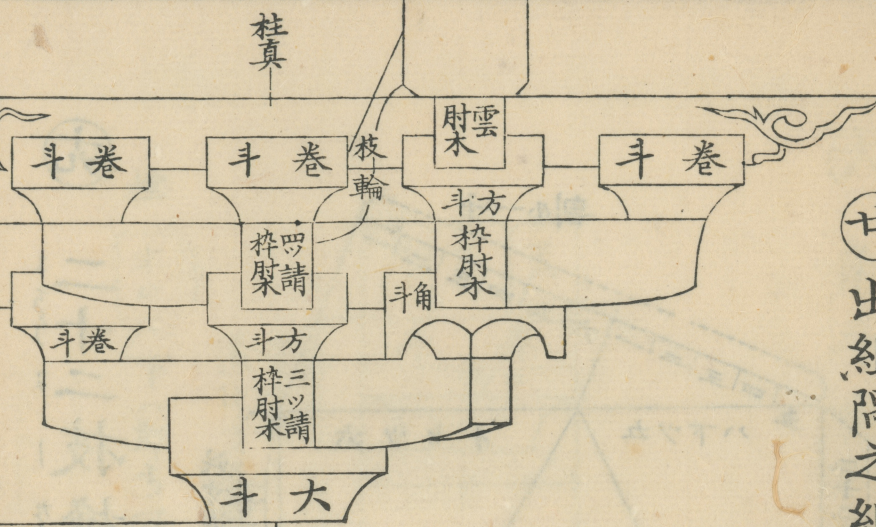
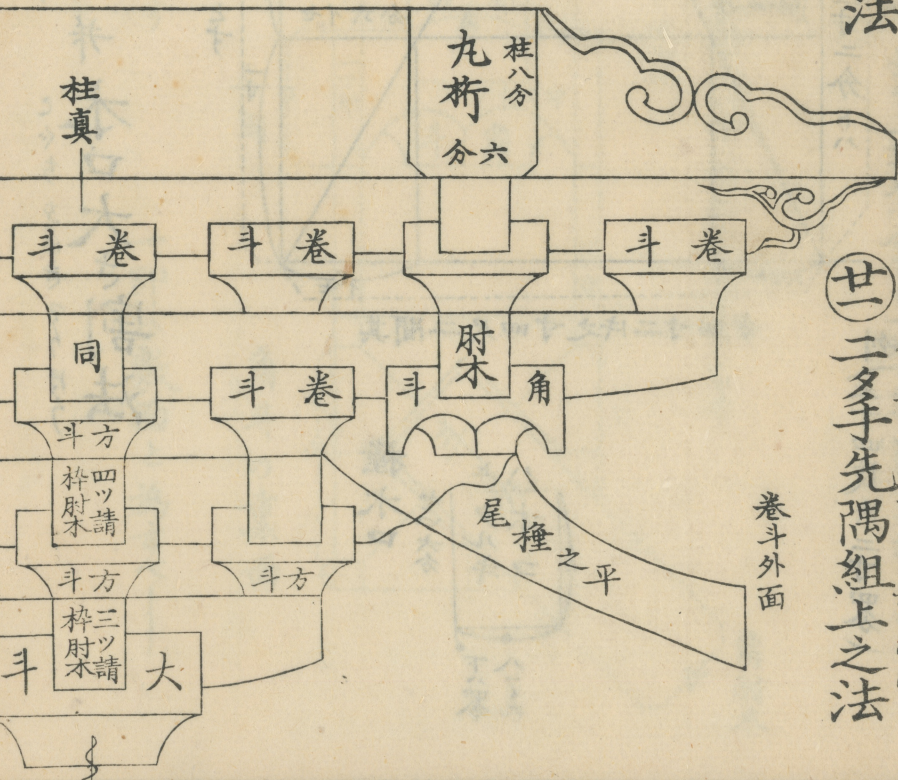
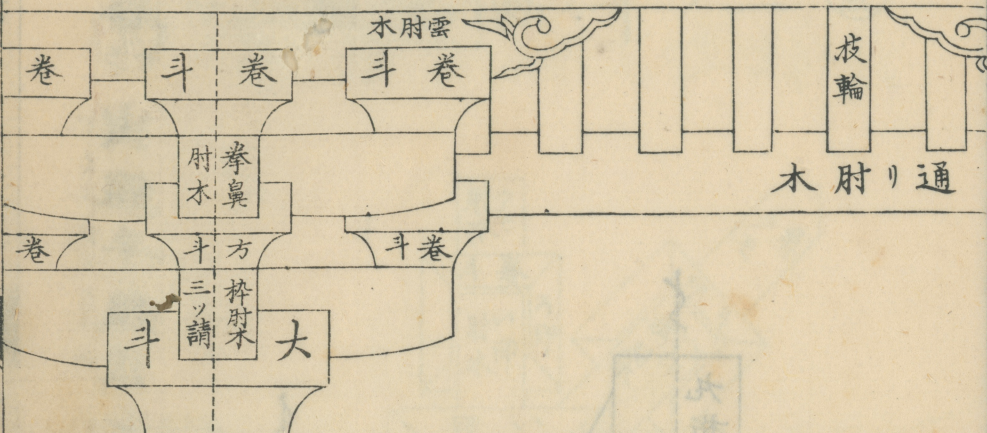
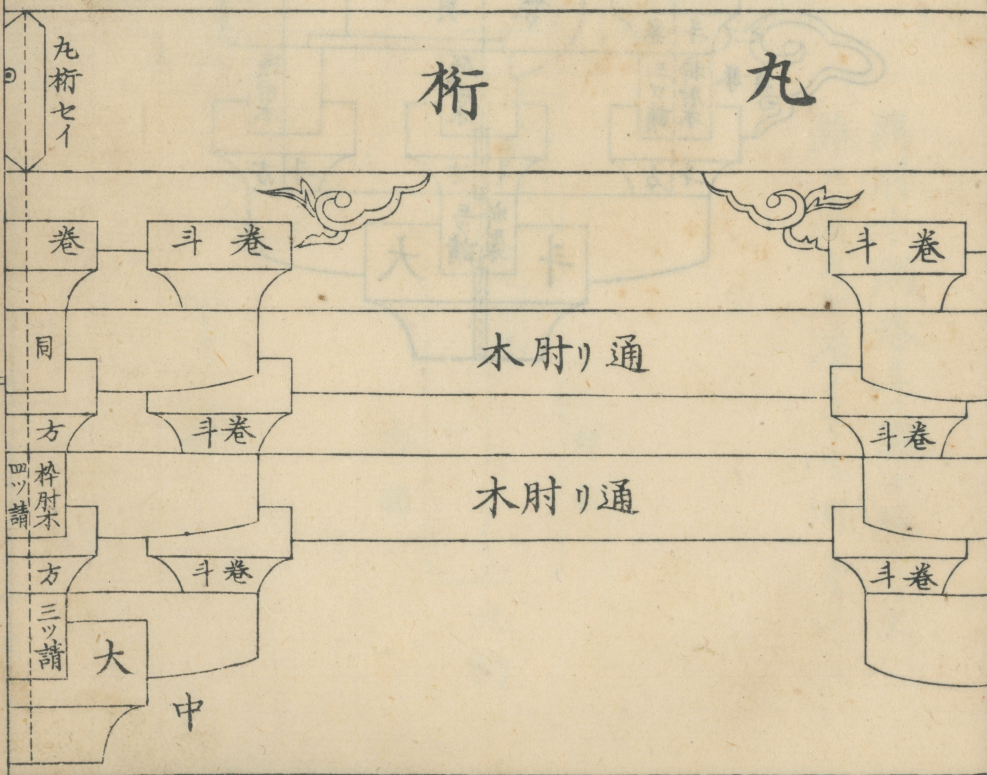
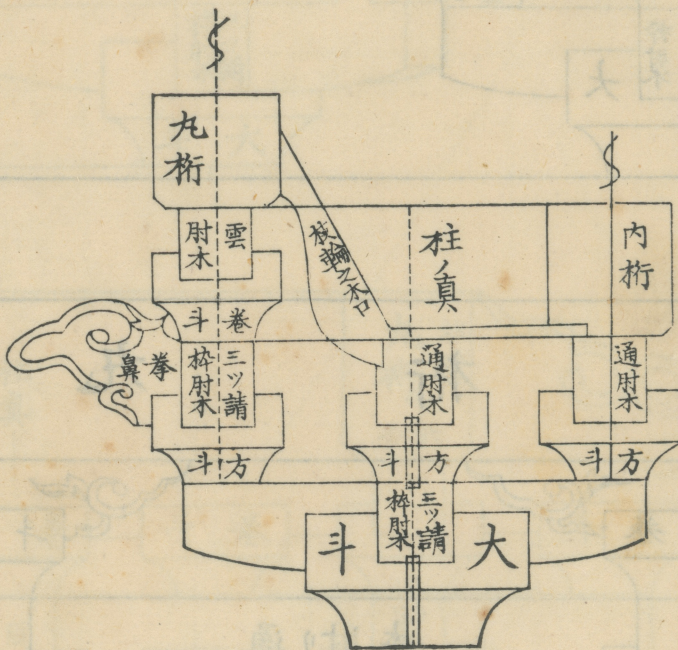
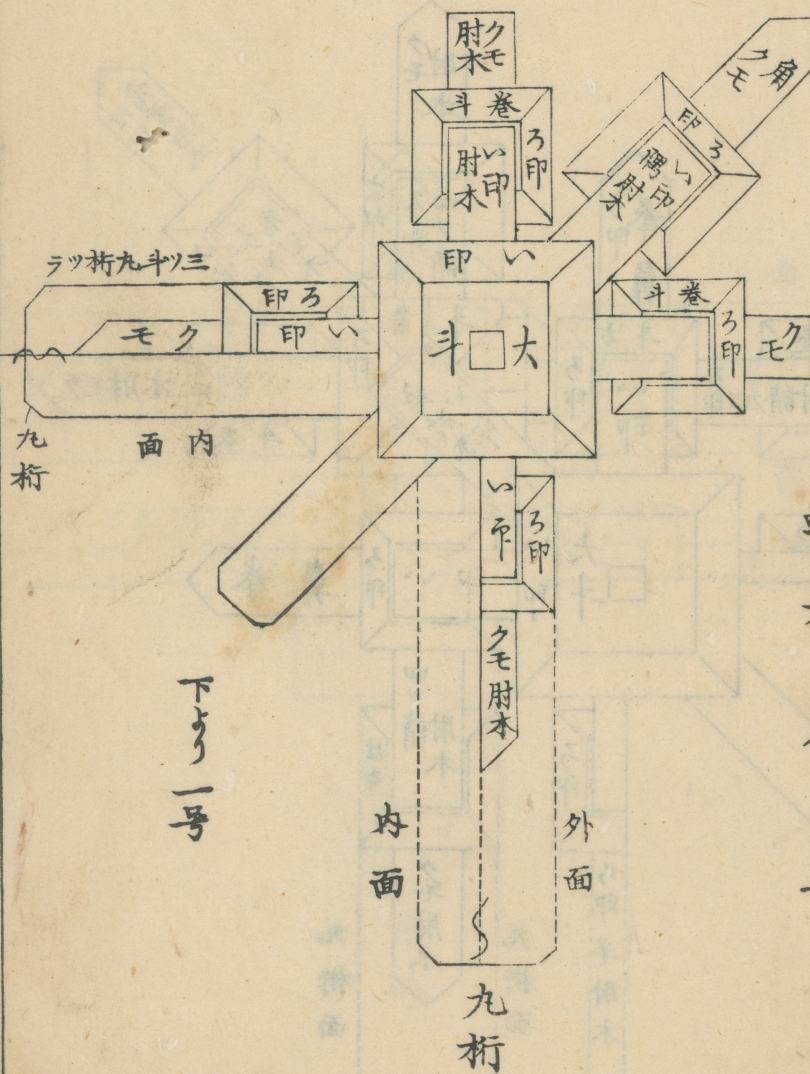
新撰大匠雛形 巻之二
廿四 出組隅地組上之仕法
クモ肘木
角は印肘木
ろ印 四ツ請
は印
角ろ印肘木
拳鼻 ろ印
方斗
い印
角
斗
巻斗
は印
クモ肘木
ろ印 四ツ請肘木
大斗
ろ印
い印
拳鼻
四ツ請肘木
は印
クモ肘木
ろ印 半肘木
丸桁面
下バ
二号
廿三 出組平地組上之仕法
ろ印 拳鼻
丸桁面
巻斗
ろ印
は印
雲肘木
三ツ請
い印肘木
方斗
ろ印肘木
はクモ印肘木
は印
肘木
い印
大斗
通リ肘木
中二
新撰大匠雛形 巻之二 十七

廿六
二手先隅地組上之仕法
に印 雲肘木
に印 隅雲肘木
は印 肘木
は印 角肘木
尾棰ノ鼻
ろ印 尾棰平
い印 枠肘木
ろ印 隅尾棰
角斗
ろ印 角肘木
クモ肘木
ろ印 四ツ請
大斗
い印 三ツ請
ろ印 尾棰手
尾棰ノ鼻
四ツ請
は印 通り肘木
雲 に印
内面
外面
丸桁上バ
廿七
二手先平地之仕法
尾棰鼻
丸桁外面
ろ印 尾棰平
は印 肘木
巻斗
クモ肘木
に印 肘木
丸桁面通り
い印 枠肘木
ろ印 三ツ請
は印通り肘木
大斗
ろ印通り肘木
中三
新撰大匠雛形 巻之一

新撰大匠雛形巻之一終

龜田吉郎平著

和洋建築新雛形

半紙形全六冊
正價金壹圓貳拾錢
郵税金拾貳錢

石井卯三郎、泉幸次郎合著

新撰大匠雛形大全

半紙形全六冊
正價金八拾五錢
郵送税拾錢

久寳庵主人著作

數寄屋構造法

本書目次

○數寄屋由來の事
○全四疊半に建つる事
○全疊數變遷の事
○數寄屋の組立
○利休數寄屋四疊半尺寸
○數寄屋諸尺寸秘法
○掤種々寸法
○洞庫種々寸法

○數寄屋諸懸釘
○全木材
○壁塗りやう
○建具一式
○露地大概
○全仕様
○全腰掛種々
○雪隱の仕様

○燈籠種々
○露地の敷石
○庭樹植え様
○諸門構造
○垣の構造
○水屋寸法
○諸秘傳寸法集

和裝半紙本全五冊
正價金八拾錢
郵送税拾錢

泉幸次郎著

◎大匠新雛形全書

○宮○隅短○堂○寺○茶席○石工○道具戸棚類合本

和裝横本全六冊
正價金八拾錢
郵送税拾錢

泉幸次郎著

◎家屋建築雛形

○町家○土藏○建具類○欄間○左官棚○座敷類合本

和裝横本全六冊
正價金八拾錢
郵送税拾錢

泉幸次郎著

◎新撰堂宮雛形

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送税四錢

泉幸次郎著

◎和洋家具雛形

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送税四錢

泉幸次郎著

◎新撰石工雛形

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送税四錢

泉幸次郎著

◎新撰建具雛形

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送税四錢

泉幸次郎著

◎新撰座敷雛形

横本全貳冊
正價金參拾錢
郵送税四錢

泉幸次郎著

◎新撰欄間雛形

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送税四錢

泉幸次郎著

◎和洋繪様雛形

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送税四錢

泉幸次郎著

◎西洋建築雛形

横本全二冊
正價金參拾錢
郵送税二錢

泉幸次郎著

◎新編棚雛形

横本全一冊
正價金貳拾錢
郵送税貳錢

泉幸次郎著
◎和洋左官雛形
横本全一冊 正價金貳拾錢 郵送税貳錢

泉幸次郎著
◎大匠町家雛形
横本全一冊 正價金貳拾錢 郵送税貳錢

泉幸次郎著
◎新撰繪様雛形
横本全一冊 正價金貳拾錢 郵送税貳錢

泉幸次郎著
◎新撰彫工雛形
横本全一冊 正價金貳拾錢 郵送税貳錢

泉幸次郎著
◎新撰家具雛形
横本全一冊 正價金貳拾錢 郵送税貳錢

泉幸次郎著
◎新撰茶席雛形
横本全一冊 正價金貳拾錢 郵送税貳錢

泉幸次郎著
◎隅矩獨稽古
横本全一冊 正價金貳拾錢 郵送税貳錢

石井卯三郎著
◎新撰隅矩雛形
正價金參拾錢 郵送税四錢

内野清藏著
◎明治新隅矩早學
半紙形全二冊 正價金三十五錢 郵税金四錢

上杉半八著
◎明治新撰建具雛形
半紙形全二冊 正價金三十五錢 郵税金四錢

◎明治新撰當世繪様集
半紙形全二冊 正價金三十五錢 郵税金四錢

◎新繪様欄間集
半紙形全二冊 正價金三十五錢 郵税金四錢

石井卯三郎著
◎新撰宮雛形
半紙形全二冊 正價金三十五錢 郵税金四錢

石井卯三郎著
◎新撰規矩雛形
半紙形全二冊 正價金三十五錢 郵税金四錢

石井卯三郎著
◎西洋建築雛形
半紙形全二冊 正價金三十五錢 郵税金四錢

右ノ雛形本ハドレデモ能ク調ベタモノダ棟梁又ハ大工ト云ハレルモノハ誰レデモ此レヲ見テ置クト非常ノ益ガアル第一高價ナ建物ヲ請負フトカ製作ヲ注文サレテソレヲ造ヘルノニ仕損ジテハナラナイ僅カナ本代位ニハ拘ハラナイカラ買ツテ見テ置クトイヽノダ」トハ或ル棟梁ノ話デアル

發賣所 大阪市南區心齋橋筋安堂寺町西入 精華堂